

みんなの議会

第55号

平成31年
2月号



P2

決算

118億円の目的と効果

P6

補正
予算

注目すべき12月会議の事業

P8

町政を
問う

一般質問 7名の議員が登壇

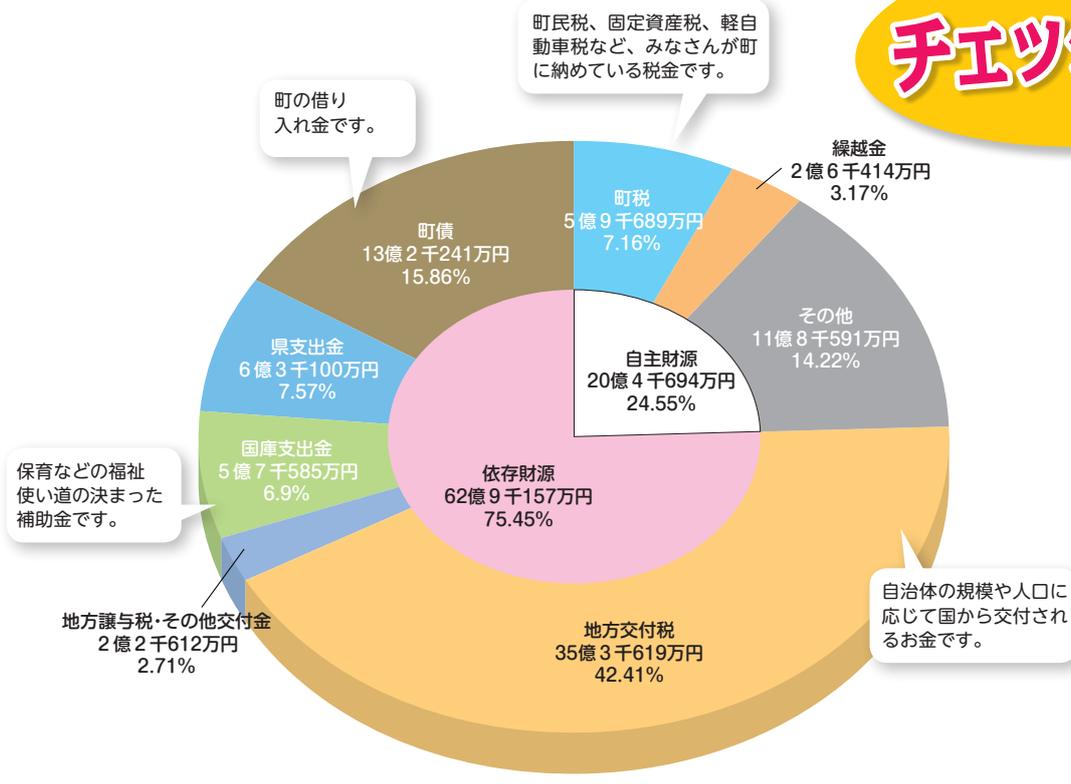
P16

常任
委員会

活動レポート

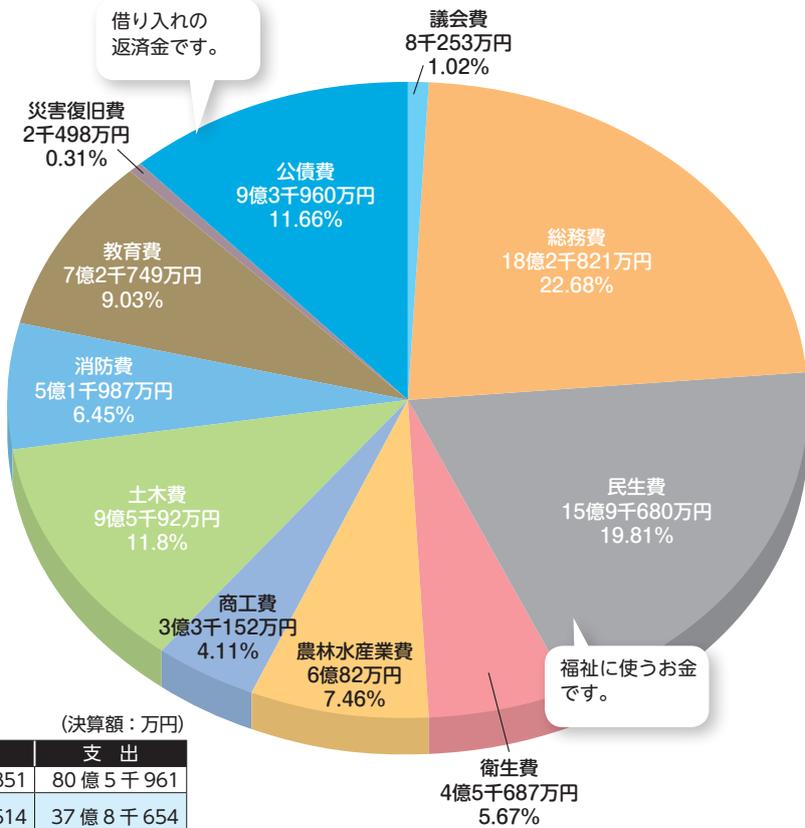
【一般会計の内訳】

チェックしました!



収入合計
83億3851万円

平成29年度決算
118億円の目的と効果



支出合計
80億5961万円

区分	収入	支出
一般会計	83億3千851	80億5千961
特別会計 (7会計分計)	38億5千514	37億8千654
合計	121億9千365	118億4千615

※四捨五入により合計が一致しないことがあります。

9月議会終了後、決算審査特別委員会において、平成29年度決算の審査が実施されました。一般会計と国民健康保険事業など7つの特別会計の歳入歳出決算を認定いたしました。

このような事業が行われました

来年度予算に活かす 議会の提言



1. 経常収支比率の改善を

- ・経常収支比率が91.4%となっており、今後、地方交付税の減少、社会保障費の増加等を考慮すると厳しい財政運営となる事は、否定できない。
適切な財政管理をおこない、経常経費の削減など、節度ある財政運営を求める。

3. 鳥獣被害対策

- ・鳥獣害対策の捕獲による成果は見られるが、その誘因とみられる遊休農地の増加に対する対策を求める。

4. 大隅半島フラワービュー 創出事業

- ・花壇を整備していくのはいいが、今後は、維持管理をしていく体制を確立してから事業の導入を図るべき。

5. ブロンズ人材センター

- ・定住促進にもっと積極的に寄与し、都市部で行われるイベント等にも参加すべきである。

ブロンズ人材センター事業

60歳未満の臨時的な就業支援及び移住定住を希望するものに対する居住や就業等に関する相談や支援を実施する。

9百43万円

地区社協設置事業

全ての町民が、住み慣れた家庭や地域で安心して共に支えあい生き生きと暮らせる社会実現のために設置するもの。

島泊地区・辺塚地区・城内地区で取り組みや準備が実施されました。

1百1万円

ネッピー・みさきちゃん 奨学金事業

本町の若者が、学べる環境を整え支援をしていく為に、本町独自の奨学金制度を確立します。また、将来、南大隅町に居住する事を条件に奨学金の返還を補助していきます。

1億6千8百35万円



その効果は?



福祉タクシー券の 利用状況は?

議員

75歳以上の免許証を
持っていない方、及び運
転免許証を自主返納され
た方を対象に交付されているが、
その利用率は?

介護 福祉課

1冊1万2000円
(5000円×24枚)を
309名の方に配布し利
用率は62%となっています。

漢字・英語検定 受検の状況は?

議員

漢字・英語検定の手数
料を負担しているがその
実績は?

教育 振興課

根占中・第一佐多中で
漢字検定は105名が受
検し56名、英語検定は
122名が受検し90名が合格して
います。

有害鳥獣捕獲事業の状況は?

議員

農作物の被害防止のた
めに、有害鳥獣捕獲に対
し報奨金を支払っている
が、その現状は?

経済課

平成29年度の報奨金は、
261万9千円で捕獲実
績は421頭で、イノシ
シ243頭、サル124頭、
アナグマ34頭 他となっております。

審査の結果は

認定第1号	平成29年度一般会計歳入歳出決算	認定
認定第2号	平成29年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	認定
認定第3号	平成29年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算	認定
認定第4号	平成29年度診療所事業特別会計歳入歳出決算	認定
認定第5号	平成29年度介護保険事業（保険事業勘定）特別会計歳入歳出決算	認定
認定第6号	平成29年度介護保険事業（サービス事業勘定）特別会計歳入歳出決算	認定
認定第7号	平成29年度下水道事業特別会計歳入歳出決算	認定
認定第8号	平成29年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	認定

定住促進住宅取得資金補助金及び 地域振興施設整備事業補助金を増額補正！

一般会計補正予算

6千610万円を追加し

総額75億1千352万円に！

「12月会議」は12月12日から21日までの10日間、佐多支所議場に於いて実施されました。

初日は、7名の議員による一般質問が行われ、わが町の基幹産業である1次産業の振興策を中心に活発な議論が行われました。

また、補正予算等を含め、14の議案を審議した結果、一般会計補正予算をはじめ、全ての議案が、原案通り可決されました。

「南大隅町本庁舎建設工事」に係る請負工事契約を「山佐・瀬戸山特定建設工事共同企業体」と締結する件・条例の制定3件 及び、本町に定住を希望する方の

住宅取得に対して資金を補助する「定住促進住宅取得資金補助金」610万円
や自治会で管理する公民館や防犯灯等の新築・維持補修に係る経費の一部について助成する「地域振興施設

整備事業補助金」300万円等をはじめとする、一般会計補正予算6千610万円や国民健康保険事業などの特別会計補正予算2千296万円等が追加されました。



私の判断 (○…賛成) (×…反対)

※議長は裁決には加わりません。

		浪瀬 敦郎	松元 勇治	津崎 淳子	後藤 道子	水谷 俊一	日高 孝壽	大坪満寿子	持留 秋男	大久保孝司	木佐貫徳和	川原 拓郎	大村 明雄
予 算	一般会計補正予算（2件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	特別会計補正予算（8件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
契 約	請負契約（南大隅町本庁舎建設工事）の締結について議決を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
条 例	南大隅町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定の件（他2件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

12月会議の



① 林業成長産業化 創出モデル事業

中間土場のアスファルト
舗装を実施します。

2,200万円



② 林業成長産業化 創出モデル事業

中間土場での仕分け作業を行
うグラップルを購入します。

1,211万円

③ 大泊海浜公園多目的 施設設計業務委託

ゲートボールやレクリエーショ
ンなど健康増進や憩いの場とし
て活用できる施設を整備します。

961万円

注目すべき事業!!



④佐多岬熱帯果樹 施設整備事業

ハウス本体工事に係る用地の排水対策と農業用水確保対策等を行います。

200 万円



⑤未来につなぐ 森づくり推進事業

雄川の湾に隣接するスギ人工林が台風により倒伏・折損している為、全面伐採・改植により復旧します。

475 万円



⑥町民駐車場整備事業

川北地区集会施設横を、駐車場として利用可能にするための整備を行います。

194 万円

一般質問



掲載順	質問事項	質問議員
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次産業の振興について ・ 交通安全対策について 	川原 拓郎
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹産業農業振興について ・ 国道 269 号浮津・伊座敷間の安全対策について 	持留 秋男
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域おこし協力隊の活動について ・ 自治体における働き方改革について 	後藤 道子
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水産業の振興について ・ 税及び公共料金等の徴収対策について 	木佐貫 徳和
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業施策について 	大久保 孝司
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 29 年 6 月会議の答弁（圃場周辺のトイレ）のその後について ・ 庁舎建設予算について 	大坪 満寿子
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 義務教育での ICT 活用の現状と課題について ・ 子どもたちの遊び場について 	津崎 淳子

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるもので、議員固有の権能として与えられたものです。

一人あたりの持ち時間は、答弁を含め 60 分です。掲載されている内容は、質問者自身が要約し広報委員が校正したものです。

外国人労働者の受け入れ農家、企業 に対しての支援策について伺います。



町長 本町においても既に複数の農業法人が外国人労働者を技能実習生として受け入れており宿泊施設の斡旋等の依頼があれば、必要な支援を行いたいと考えております。

議員 学校跡地の活用はできないか伺います。

企画課 お尋ねの学校跡地、地区民の理解が得られましてですね、そして、もし、そういう学校校舎改修して提供するぐらいの人数がいるのであれば、今後庁舎内で協議をしていきたいと考えております。

議員 高山の商工会がやっているような管理団体をブロンズ人材センターの中に管理団体において、そこが中心になって事務手続き等がされて支援する方法はできないものか伺います。

町長 ブロンズ人材センターは、ブロンズ材でやっている事業でございますので、人材派遣的な部分でございますと非常にこの合致した話になりますので、今後取り組み姿勢を全面的に取り組んでいきたいというように格好で検討し、我々の方からブロンズ人材センターの方にも要請していききたいというふうに思っております。

産業振興支援事業補助金を見直す考えはないか伺います。

町長 平成27年度より29年度を1期として、多数の経営体が施設整備や機械導入に活用いただき、生産基盤の強化が図られたところであり、本年度より第2期対策として、予算措置を行い本事業の活用により、個人経営体より法人経営体への発展を期待するものでありますが、近年、法人経営体からの要望も数多くあり、

そのような状況を踏まえ、事業の対象者については、経営規模等を勘案しながら法人まで拡大するよう検討してまいります。

議員 法人も見直していくという考えですが、当初予算に計上をされる計画ですか伺います。

経済課 当初予算の関係でございませぬけれども、第一次産業個人の経営体について、当初で一千六百万円ほどの事業を組んでおりますので、今後法人等の内容を見直しをしまして、要綱等を改正しながら進めていき、その様子を見ながら補正等対応をしていききたいと思っております。

第一次産業就業者向け住宅支援事業の進捗を伺います。

町長 ご質問の第一次産業就業者向け住宅支援事業につきましては、アンケート調査の実施、導入事業の検討を行ったところでございますが、現在のところ難しい状況でございます。今後も地方創生の取り組みの中で、導入事業等を検討してまいります。

歩道の利用のない町道のガードパイプを撤去し、車道を広くすることはできないか伺います。

町長 ご質問の場所は、町道横別の歩道であると考えておりますが、当時小学校もあり、児童や地域住民の安全を確保する観点からガードパイプが設置されたものと考えております。道路管理者としましては、現状維持を考えているところであります。

議員 こういった箇所は町内に何か所ぐらいあるか調査をされたことがありますか伺います。

建設課 調査をした経緯はありませぬ。町道でこういう類の部分というのはこの旧滑川小学校の、この町道だけと考えているところでございます。



車道を広くすることはできないか

労働力の確保により一次産業、商工業、町の発展に繋がる。

議員のひとり言

基幹産業振興について 高齢化、担い手不足、鳥獣被害等により 耕作放棄地が多くなるばかりだが考えを伺う。



町長
耕作放棄地の解消を図るため、全ての農家を訪問し、農地利用の意向確認を実施しています。また、有害鳥獣に強い作物として、辺塚だいだいやヒサカキなどを推進し、作物転換を図っております。

議員
地域によっては、集落に入っただけで、耕作放棄地という所もあります。地域の方にごげんかでけんなど言っても、農機具が大きいため圃場に入つて行けないという現状であるそうです。
今、町長が申されました、辺塚だいだいやサル被害を避けるような作物の苗木代の助成を本年度でどのくらいされたのか、またアボカドや辺塚だいだいを植え付けた面積はどれくらいか伺います。

経済課長
平成30年度アボカドにつきましては、90㍎程、辺塚だいだいにつきましては、まだ苗木が届かないという事で、来年早々に、だいたい270本程植え付ける予定でいるところです。

議員
辺塚だいだいについては、非常に今、人気があるようでございますが、どのような推進を考えていらっしゃるのか伺います。

経済課長
辺塚だいだいについては、平成29年にGI指定を受け

ておりますので、佐多・根占地区に関わらず、どんどん推進していきたいと考えております。

議員
水田においても、米を作る人がいない状況です。ぜひとも、アボカド・辺塚だいだい等を推進していただき、耕作放棄地にならないよう努力して頂きますようお願い致します。

伊座敷トンネルの 供用開始の見通し について伺う。

町長
当事業は交付金事業で実施されており、今後の配分状況により、変動の可能性もあることから、現時点では供用開始時期は未定であるとのことですが、遅くとも平成32年度の供用開始を考えているとの回答でございます。

議員
現在の海岸線の道路は、町長も町民もご承知の通り、竹が茂つたり、大きな石が落ちていたりして、大変だと思っておりますが、なるだけこの状況を踏まえた形で、早いうちに供用できるようにお願いしたい。

通行止め基準連続 雨量200mmに台風 等強風を加味する 必要はないか伺う。

町長
県に確認しましたところ、連続雨量200mmに達した場合となっており、台風等の強風についての基準は特段設定してないとの回答でした。

議員
通行止め対策等の考えはないですか。

建設課長
事前に通行止めも考慮した中で、新たな基準といえますか、そこも今後検討してまいりたいと思います。



今回質問しましたことが早期に実になりますように要望します。

議員のひとり言

地域おこし協力隊の役割とは？



町長 町に新しい風を吹き込み、能力を最大限生かして、結果として本町へ移住してほしい

議員 現在、経済課一名、観光課三名のうち一名は十月末で退任

され、十二月末にも一名の退任予定ですが、隊員の目的にあった仕事内容であるか、また、今後の隊員募集の考えについて伺います。

観光課 観光協会の事業のサポートをしつつ、三名それぞれやりたい

い事業、やりたいことを思っつて着任しており、担当課長・観光協会事務局長として、また同僚として接する機会が多いので、ある程度隊員の考え、活動状況について把握している中においては、順調に推進していると認識しております。人手が足りないから募集するというのは制度の趣旨に反しているの、事業拡大のために専門分野が必要と判断された場合には検討します。

議員 協力隊退任後の定住に對しての支援が足りないのではと思

うが、各担当課でされている支援について伺います。

観光課 観光課としては来年で着任三年目に入る隊員が一名おり、

細やかな目配りを行い、定住・起業に向けた支援や研修、資格取得において経費の支援も行つていく考えです。

経済課 現在、熱帯果樹の栽培研修を受けているところです。また、

並行して六次化の商品加工等の研修にも自ら行つており、大変期待しているところです。定住については、農業・就農の施策の活用を本人と話しながら決めていく考えです。

議員 協力隊が退任後、定住され、町を支える一人になって欲しい

と思うので、行政の支援を要望します。

自治体における働き方改革について

町長 人事評価制度を平成二十七年より完全実施能力評価と業績評価で行っている

議員 人事評価に對してマネジメントを行うにあたり、研修などの人材育成はなされたか伺います。

総務課 人事評価制度を導入して六年目になります。評価者の役割、目的について職員研修を行つて

おり、また、全体的な人事評価に係る説明会についても職員研修を通じて行つていくところです。

議員 総務省においてはソサエティ5・0など高度に融合させたシステムの導入を進めています

が、ICT活用による働き方改革をどのように考えておられるか伺います。

※ソサエティ5・0とは

第5期科学技術基本計画のこと

※ICTとは

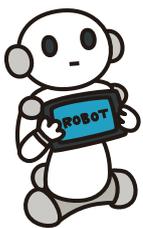
パソコンやスマートフォンを使った情報処理や通信技術

町長 改革のテーマとして柔軟な働き方がしやすい環境整備と労働生産性の向上があり、具体的な取り組みとしてテレワークの導入、およびロボットによる業務自動化（RTA）の導入、AIの活用による職員の省力化等があります。国

や他の自治体での導入等を参考に職員の働き方を改善すべく取り組んでいます。

議員 働き方改革を行う中で大事なこととは人材育成ではないかと考えます。自治体としては、職員のスキルアップが住民サービスにつながるかと考えております。色々な研修に参加できる環境と予算を計上し、

町民のためになるスキルアップを要望いたします。



漁業従事者が減少して いる中、支援策を考えているか。



町長

新規就業者支援事業で、
機械器具の購入助成を実施。

議員

漁業従事者は、10年前、20年前と比較して、どの程度減少しているか。

経済課

20年前が、297名、10年前が248名、現在が176名で20年前と比較して121名減少しています。

議員

相当減少しているが、新規就業者を増やしていかなければならぬ。経済課からの「農業支援について」という、お知らせのパンフレットがあるが、中を見ると第1次産業、漁業従事者にも支援があると載っている。27年度から始まっているが、今まで漁業従事者の申請はあるか。

答

町長

今まで、申請はない。

議員

同じ第1次産業であるのにPR不足ではないか。

町長

漁業従事者へのPR不足は否めない。今後、会議等で十分説明していく。

議員

このパンフレットの「農業支援について」を「農林水産業支援について」と変えれば漁業従事者も分かるのではないか。

経済課

ご指摘のとおり、農林水産業支援に改善してまいります。

議員

空き家を活用したお試し住宅を漁港近くに造り、水産業の体験をさせ、新規漁業者に繋げる事はできないか。

町長

お試し住宅は、移住・定住及び空き家対策で効果的である。本年度、根占地区に1戸準備、伊座敷地区の空き家調査を行い、所有者や漁協の意見を聞きながら取り組みを進める。



漁船が減った伊座敷漁港

議員

お試し住宅利用者は、生活の基盤になる収入の見込みがないと移住は考えないと思う。漁業について、定置網、キビナゴ漁、一本釣りなど色々な漁法の体験メニューは考えられないか。

経済課

今後、漁業者の方、又は漁協に相談して、できるものか検討していきます。

議員

各漁港に放置されている休船・廃船の調査をして、処分に係る経費を支援することはできないか。

町長

各漁港を調査したら、陸揚げしてから何年も放置されている漁船や船外機等が見受けられる。今後、関係機関と協議し、所有者の確認や処分料の調査を行い、検討していく。

議員

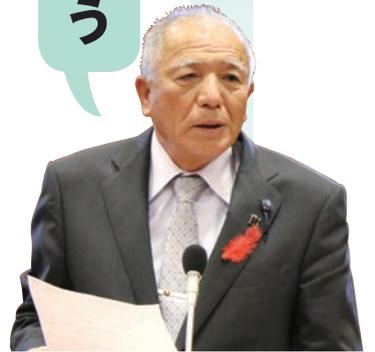
最近引退された方は、漁具、漁網、漁船なども所有されておられると思われる。漁業者従事者に情報の提供もしてもらいたい。

その他、公共料金の徴収対策や公売についても質問した。

議員のひとり言

本町の第一次産業、農林水産業支援に取り組むことが大切である。

農業施策について問う



議員 平成31年度新たな農業振興施策の考えはないか伺います。

町長 新たな事業展開としてIOTを活用して施設園芸農家のハウス内環境モニタリングを行い生産性の向上を図る先進的実践事業を行う計画です。

議員 馬鈴薯の30年産価格低迷により、31年産面積の動向が危惧されるが今後の取り組みを伺います。

経済課 収穫期における労力軽減策として収穫機械の研究、人材派遣を考慮して関係機関と連携していきます。

議員 野菜振興対策事業の31年度共済加入状況を示してください。

経済課 申し込みは共済組合で取り扱っており、共済助成については31年度予算計上予定であります。

議員 平成28年から10ヶ年計画で進められている農業振興ビジョンに沿った農業施策は推進されていますか。

町長 施策の方針として物流と商流の一元化、農畜産物振興、人材の活用、育成の三方針により各基本施策を掲げています。

議員 早期に見直す事業等はないか伺います。

町長 具体的に施策が実施できていく部分もあるなかに見直しが必要な施策も見えてきつつあります。当初32年度に事業見直しをする設定でしたが振興施策の停滞を招くことのないようニーズに沿った対応を図ります。

議員 推進品目であるアボカドの植栽面積とパインアップルの辺塚だいたい等の苗木購入支援の果樹振興対策事業の状況を伺います。

経済課 アボカドは300アールの植栽面積で果樹振興対策事業も予定通り進んでいます。

議員 国の認定新規就農者制度であるが本町の受給者は何名でしょうか。

町長 平成24年開始時から29年度迄に11名が認定、30年度は1名が認定され現在7名が受給しています。

議員 本町新規就農者研修制度事業、農業者入植促進事業の受給者はそれぞれ何名か伺います。

町長 新規就農者研修制度は本年度一名が認定、農業者入植促進事業は町単独による就農奨励金として平成17年度から29年度迄45名が受給、本年度は3名が認定されています。

議員 新規就農者研修制度事業は年令制限、年数等を見直す考えはないか伺います。

町長 31年度より年令制限を60才未満と改定する予定であります。農業研修資金の年数は検討させていただきます。

議員 本町での新規就農を目指すIターン者が多いと聞きますが農業技術の指導も含めて対応策を伺います。

町長 近年本町で就農を希望される相談が複数あり就農支援については本人希望の品目を尊重してその品目に取り組んでいる農家での研修と二名の営農指導員の技術指導により就農に向けた技術取得の体制を進めています。

議員 農業研修、実習として本町の移住、定住交流お試し住宅整備事業を利用される考えはないか伺います。

町長 本事業を大いに活用して経済的負担をかけない充実した農業研修、実習を実施していく考えです。



アボカドの植栽

一般質問、圃場周辺にトイレ設置を！のその後



町長 諏訪地区に駐車場を整備し、併せて公衆トイレを設置する計画

議員 諏訪地区の公衆トイレは観光客の為のトイレではないですか伺います。

町長 公衆トイレなので町民並びに農家の方も十分使用できると思っております。



錦江町圃場周辺のトイレ

議員 そのトイレは誰でも利用できるという事ですが、いつでも解放されているのか伺います。

経済課長 供用が開始されればいつでも利用できます。



南大隅町圃場のトイレ

議員

観光客が大勢いる時など農業従事者が気軽に利用できるかといえばそうではないと思います。農業従事者が気兼ねなく利用できる公衆トイレは必要です。ネッピ館はじめ、みなと公園、ふれあいドーム、なんとん市場、多目的健康広場などトイレが密集している所もあります。

最終的な庁舎建設関連予算は

※外構並びに付帯工事費とは「旧庁舎の解体」、「駐車場整備」「公用車庫建設」などを示す。

町長 本体工事費（十六億四千八百七十八万円）以外で今後外構並びに付帯工事費を六億円程度想定しています。

議員 それらは合併特例債を適用されるか伺います。

総務課長 基金活用を行うのか合併特例債を活用していくのか今後検討していきたいと思えます。

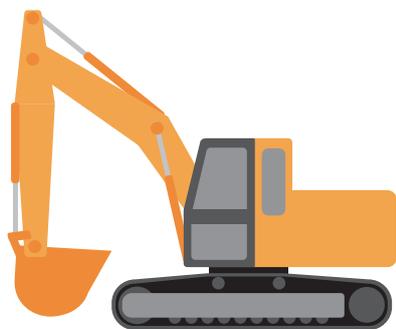
議員

庁舎建設費はいくら膨らんでいくのかと、不安を覚える町民が多数おられます。十六億四千八百七十八万円以外

しかし、本町には必要な場所に公衆トイレが不足しています。農業は南大隅町の基幹産業です。農業従事者の声を拾い上げ、是非小瀬戸口周辺に公衆トイレを設置すべきです。

小瀬戸口周辺の公衆トイレは多くの観光客にも喜ばれ利用されると思います。

に六億円程度の経費を必要とすることを町民が納得するよう説明し、備品など再利用に努めてください。



議員のひとり言

トイレを必要としている農家のみなさんの切なる声は届いているのでしょうか!!

津崎 淳子 議員

小中学校におけるICTの整備状況は



教育長
パソコン教室に1クラスの生徒が使用できる台数はある。電子黒板は29年より導入し、年次的に整備し、ゆくゆくは、各クラスに1台ずつ計画

議員

拡大投影機は使用頻度も多く、足りずにクラス同士で譲り合いになっていると聞きまし。タブレットが導入されれば、電子黒板とセットで多く活用されるので、各教室に必要なと思うので、年次毎に増やすのではなく、全教室に設置するように検討してください。

タブレットを導入されるようですが、どのように活用していくのか方向が定まっていますか？

教育長

H31年度から1クラスの生徒が一人一台一度に使用できる台数を購入計画です。

利用方法、アプリケーションについては、実際に授業に使用する先生と協議しながら計画を進めていく考えです。

議員

タブレットを使う目的を明確にせず、拙速に導入すれば使いものにならなくなった例もあるの、よく協議して進めてください。

2020年から小学校、中学校と※プログラミン グ教育の必修化に向けて 準備状況、又は取組みは

教育長

パソコンに加え、タブレットの導入を考えています。

取組みとして、小学校ではプログラミングを体験しプログラムによって作られているソフトウェアを理解し、教科学習で活用できるようにします。中学校では、技術分野の情報

の技術において、計測・制御に関するプログラミング解決に活用できるようにします。

議員

プログラミングという科目ができるのではなく、すでにある教科の中でプログラミング教育を実践し、またプログラマーを育てる為でなく、プログラミング的思考などを育むことです。子供たちが興味や関心を持ち、つまずかないように指導をしてください。また、先生方の負担軽減、子供たちのICTの先端技術の能力を育み教育の充実を図る為にもICT機器の導入、ICT支援員の配置が必要だと思っております。えていただきます。



小中学校に導入予定のタブレット(イメージ)

※プログラミングとは？
プログラム(コンピュータへの指示)を作ること。

子供が遊べる公園の 必要性についてどう 考えているか

教育長

子供がのびのび遊べる児童公園の整備は、子育て環境として必要なもの。

議員

私も遊ぶことは、心身の発育・発達や自主性・創造性・社会性などを身につけるのに不可欠だと思っております。

町内に遊具がある施設の現況は？

企画課長

小学校・幼稚園を除いてみると公園2基、蔵住宅1基あります。

保育園は、日曜日以外に一般の保護者、子供に開放している。

今後の計画については

町長

9月会議における松元議員の一般質問を受け、導入事業の選定を行っている。

設置場所は、近場が適当。利用者ならびに町としての効果的な事業計画を今後立てて進めていきたい。

議員

遊具施設の管理、運用が難しいことはわかりますが、遊具があることで順番を守り、譲り合い、待つ、忍耐力、コミュニケーション力が養われ、ケガをしないように注意することで危険回避能力が育つと思います。子供と保護者には、遊びには一定の自己責任が伴う事を認識していただくよう努めていくしかありません。母親たちの声に耳を傾けて早期に整備を。

議員のひとり言

子供たちが外で楽しそうに遊ぶ姿、はしゃぐ声を聞きたいなあ

町村議会広報研修会

平成30年10月9日から10日にかけて東京シェーンバツハ・サポーにおいて町村議会広報研修会が開催されました。

南大隅町議会から女性議員三名と職員一名で参加しました。前田安正氏他二名による「読み手に伝わる文章の書き方」「デザインの方で、もっと伝わる議会広報誌に」「最優秀賞及び優秀賞作に見る光彩を放つ編集力」について講演がありました。

見て

聴いて

考えた



研修を終えて参加者の感想

津崎議員

●読み手目線で考えるためのポイントや言葉づかい（文・文章）を教えて頂き、活用していきたい。また、もっと伝わる議会広報誌になるように、住民の目をひき、どうしたらわかりやすいのか、どう伝えたいのか明確化した広報誌になるように取り組んでいきたい。

後藤議員

●広報とは情報を正確に発信し、読み手にわかりやすい文と文章にすることが大事である。次に、読み手目線で考えることと、より多くの方に手に取って読んでもらう広報誌にするためには、パツと見た目に文字が飛び込み、中身がわかる写真や文字の大小の使い方などで、点が伝わるなど、今後の広報誌作りに必要なことが多数学べたので、今後の広報誌作りに生かしたい。

大坪議員

●自分の伝えたい内容を記事にする時、構造にメリハリをつければ相手に伝わりやすくなり、表現方法も文字の大きさ、太さ、書体で硬さや柔らかさを出すことにより文字に個性が出て読者も興味を持ち読みやすくなるなど、これからの広報誌作りに大いに役立つ研修でした。自分らしい議会だよりになるよう心掛けたと思います。

【お試しし居住施設事務調査】

いちき串木野市・伊佐市



いちき串木野市

平成30年11月27日から28日にかけて、いちき串木野市、伊佐市において「お試しし居住施設」について調査しました。

いちき串木野市では空き店舗及び空き家を改修され、運営されておりました。一泊2千円で、これまで1泊から30泊の利用があり、滞在さ



伊佐市

れた2家族が移住されたそうです。伊佐市においては、4棟の移住体験住宅を新築され、年間50世帯から70世帯ほどの利用があり10年間で22件、40人の移住があったとのことで、本町も空き家を活用した、お試しし住宅での移住定住に取り組むべきであると感じました。

【振興作物（アボカド）の調査】

南大隅町内



12月10日、本町の振興作物であるアボカド生産の現状調査を実施しました。先駆的にアボカドの栽培を始められた濱田祐一郎さんの露地圃場及び施設（ハウス）に赴き栽培状況を確認しながら経済課技術員等の説明を受けました。



辺田地区では約10アール、丸峯地区の施設（ハウス）では約5アールの圃場で「ハス」や「ベーコン」「ピンカートン」等といった数種類の品種が栽培されていきました。

また、本町に適した品種を模索中との事でした。風や低温には弱いものの、サルなどの鳥獣被害を受けにくく昨年は初めての出荷にも関わらず鹿児島市の山形屋パート等に於いて高値で販売されたことから、有望な作物であると考えられます。

新春

鬼火焚き!

新しい年を迎え、新年の行事が各地で行われています。滑川校区公民館主催で、恒例の新春鬼火焚きが1月13日の夜開催されました。陽が暮れて、数日前から切り集めた竹に火が点けられると、「パチパチ」という音と共に燃え上がる炎は、「無病息災」「五穀豊穡」といった、みんなの願いを勢いよく届けるかのごとく燃え上がっていました。また、来場者全員にふるまわれた、豚汁を食べながら、しばし燃え上がる炎に見入っていました。



広報モニターから

ひとこと No.2



山之内 正博さん

「みんなの議会」は読み易くなったと思います。写真などが多く使われているのも、ひとつの要因だと考えます。今後は、町民から意見を募集したり、傍聴された方の意見等も掲載して欲しいと思います。子どもの絵画等を掲載するのも良いのでは。一般質問の記事を楽しみに読んでいます。いつも思う事が、質問の結果です。答弁通り実施されたのか、

検討された結果どうなったのか、読者にとつてはそこが最も知りたい部分だと思っています。是非、掲載していただきたい。また、質問者がいつも同じ方たちに思えるので、質問回数を書いてみるのもおもしろいと思います。これにより質問される議員が増えれば、もっと良い事だと思っています。

編集後記

平成も残り数ヶ月となりました。いつの時代も時の流れは速いものですね。

新庁舎建設の予算も可決し、いよいよ工事着工となります。また、昨年は各地で大規模な災害が発生し、予測困難な事態が起こりました。これにより、災害拠点の見直しの必要性を改めて感じました。

これからの新たな時代の幕開けに期待を持ち、時の流れに乗り遅れる事のないように、常に情報を取り入れていくことが今後重要であると考えます。そして、広報誌を通じ、町民の皆様に必要な情報発信をしていきたいと考えております。まだまだ寒さも続いておりますので、どうぞ体調には十分ご注意ください。

後藤 道子

表紙の風景

はまゆう保育所・合同七草会



【お知らせ】

3月会議は、3月5日（施政方針演説）、19日（一般質問）・20日・26日に本庁議会議事堂で開催予定です。

「みんなの議会」では見る事ができない議会が、ご覧になれます。ぜひ議場までお越しください。

【発行責任者】

議長 大村 明雄

【広報広聴常任委員会】

- 委員長 水谷 俊一
- 副委員長 木佐貫徳和
- 委員 津崎 淳子
- 委員 後藤 道子
- 委員 日高 孝壽
- 委員 大坪満寿子